

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和5年3月1日

事業所名 RAINBOW名東一社クラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			10名定員となります。
	2	職員の配置数は適切である	2			基準人員は満たしておりますが、引き続き、加配人員の拡充などにも努力して参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		ビルのワンフロアを全て使用しており、他の往来もなく、安全管理の徹底に努めております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		毎日ミーティングを行い、新しいことに取り組む際、常に振り返り⇒改善点の洗い出し⇒再試行を繰り返し実践しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			送迎時に積極的に保護者とコミュニケーションを取り、それらの結果を職員間で共有を図っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者による外部評価は実施しておりません。今後、検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			原則、毎月「オンライン研修会」などを実施しております。今後は内容の充実・質の向上が課題だと認識しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			ご契約締結時や「個別支援計画書」の更新時期において、各保護者と面談を実施し、保護者のニーズを分析し、かつ職員の観点も反映した実効的な計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			「脳バランサーキッズ」(デジタル認知テスト)を活用して、ワーキングメモリの強化などの脳トレを実施している。今後は「バインランドⅡ」などのツールを活用して、実効性を高めていくことが課題です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		職員全員の意見が反映できるよう努めて参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			毎月、日替わりプログラムを策定しています。とりわけ、集団における活動を実施できるよう努めております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			平日・休日、夏休みなどの長期休暇、その他季節的な要素なども考慮して、適切なプログラムを組んでおります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			「個別支援計画書」に子どもの状況を反映し、それに基づいて支援・療育を実践しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日、サービス提供時間前に職員間でのミーティングを行い、当日の学習担当者の設定・送迎の時間確認・日替わりプログラムの内容確認・その他注意事項の確認などを行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			非常勤の職員もいる中で、全職員が集まって打ち合わせを行うことは難しいものの、スマートフォンや送迎前の伝達時などを活用して、気付きや連携事項の共有化を図っております。また、メモ書きを作成して担当ドライバーへの情報引継ぎを行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			主に「HUG」システムを活用して、日々の活動支援や活動記録・ケア記録を記載・保存しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			主に送迎時のタイミングを活用して、保護者とはコミュニケーションを図っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		学習支援を中心に、集団でのレクリエーションや課外活動、外部講師との英会話レッスン、避難訓練など、種々活動を交えながら支援を行っております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			社会福祉協議会とのZOOMによる「サービス担当者会議」は定期的を実施しており、各関係機関との情報の共有化を積極的に図っております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			毎月、保護者より学校の行事のご提出および子どもの予定表をご提出いただき、トラブル防止に努めております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				アンケート集計時、医療的ケアが必要な子どもはいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			気になる点がある場合については、個別に保育園・幼稚園などにヒアリングを行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				アンケート集計時、該当する子どもはおりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		当該専門機関と十分に連携をして、助言や研修を受けるまでには至っていません。今後の課題として、前向きに検討して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		送迎時において、児童クラブ・児童館・トワイライトなどとコミュニケーションを図っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				コロナ禍のため、実施を見合わせております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			主に「HUG」システムのマイページを活用して、日々の学習内容・活動内容を写真とともに各保護者に連携しております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		モニタリング実施時や送迎時などを活用して、保護者とコミュニケーションを図る中で、事業所内での取り組みと方向性を一にできるようお話をしております。ただ、より専門的なペアレント・トレーニングは実施できていないので、今後の課題として、前向きに検討して参ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に丁寧に説明をしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者からのご相談などについては、職員間で共有する中で、様々な角度からの検証を行って、ご回答をするよう心掛けております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				コロナ禍のため、実施を見合わせております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			これまでの所、苦情を受けたことはほぼないものの、今後、苦情が発生した場合は、初動を含めてどのようなフローで対処していくか職員間でも徹底して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			主に「HUG」システムのマイページを活用して、日々の活動内容などを写真とともに各保護者に連携しております。
	35	個人情報に十分注意している	5			十二分に注意を払って、運営しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			保護者との連絡手段である「HUG」システムのマイページにおいて、当日の活動内容をより分かりやすく丁寧に記載させていただいており、また当該内容については、複数人でチェックを行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				コロナ禍のため、実施を見合わせております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		各種のマニュアルについては、事務所に備え付けて職員間においては周知しているものの、保護者に向けてはご案内できておりません。今後の課題として、検討して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		名古屋市の条例に従って、毎月、避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止委員会を設置して、職員間においても過去の事例などを周知し、今後の取り組みについての研修会を実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		契約締結時において、重要事項説明の際、各保護者に当事業所の取組み方針について丁寧に説明をさせていただいております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		該当の子どもについては、職員間で共有するとともに、飲食時は他の子どもと離して食事をとらせるなどの対応をしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		ヒヤリハット発生時は、事実経緯書を作成して、各職員間で共有しており、再発防止に努めております。